情報提供資料

# 2016年は日本中小型株式に注目！

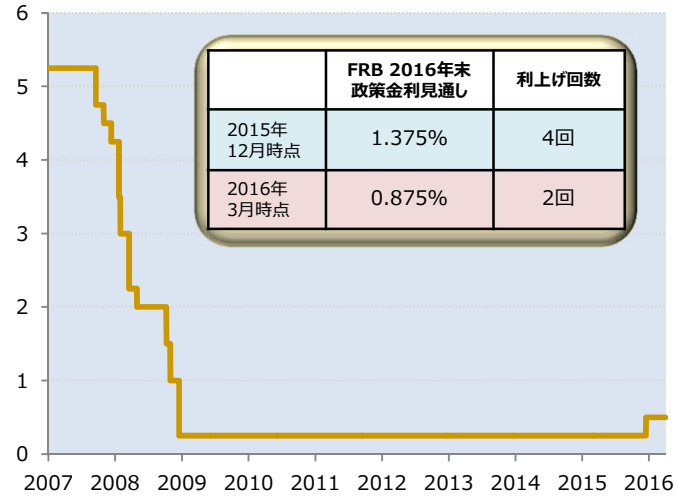
SBI Asset Management

2016年4月吉日

## 円安期待の剥落により、為替水準が円高方向にシフト

➤ 米国金利の上昇ペースが緩やかになるとの見方から、ドル高円安期待が縮小し、輸出関連業を中心とした日本の大型銘柄にとっては、向かい風が吹く環境となっています。

### 米国政策金利推移




| | FRB 2016年末政策金利見通し | 利上げ回数 |
|---|---|---|
| 2015年12月時点 | 1.375% | 4回 |
| 2016年3月時点 | 0.875% | 2回 |

データ期間：2007年1月～2016年3月
【出所】Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

### ドル／円推移

データ期間：2000年1月～2016年3月
【出所】Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

## 2016年 経常増益率は、中小型株優位な相場に

➤ 為替水準が円高に振れることにより、国内大型株式の経常増益率の下振れが予想されます。

➤ 為替の影響を受けにくい、国内の中小型株式については堅調な増益率が見込まれており、相対的に中小型株優位な環境になっていくものと考えられます。

**市場別　経常利益増益率**

| | 2015年予想 | 2016年予想 |
|---|---|---|
| 東証1部 | 4.5% | 7.9% |
| 東証2部 | 4.5% | 10.9% |
| マザーズ | 47.9% | 32.3% |
| ジャスダック | 12.3% | 13.2% |

【出所】Quick　東洋経済予想のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

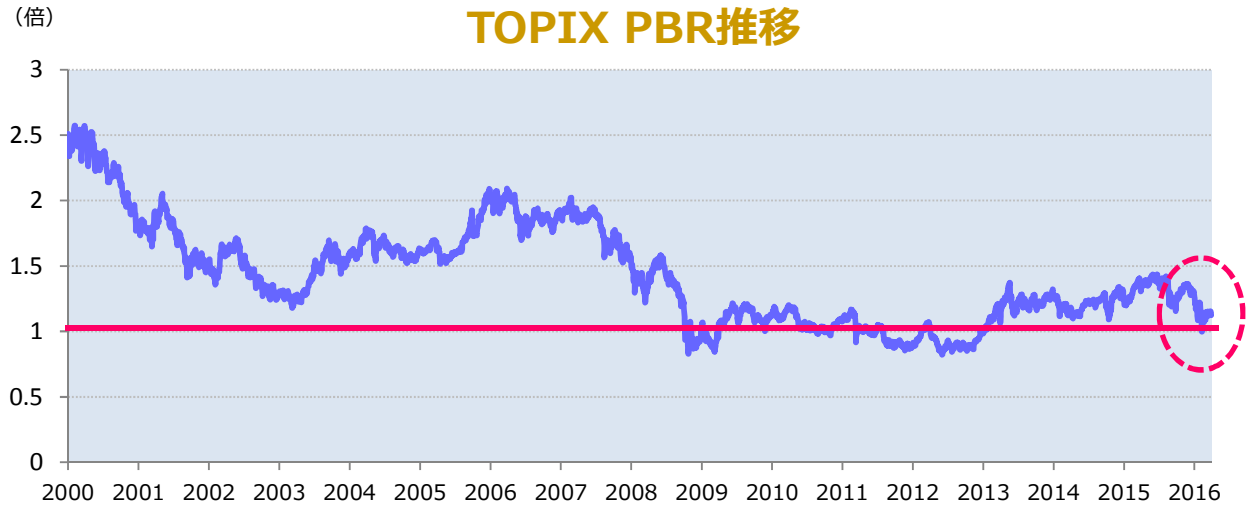
○本資料は、ＳＢＩアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

# 2016年は日本中小型株式に注目！

SBI Asset Management

## 日本株全体でも下げ渋る水準へ

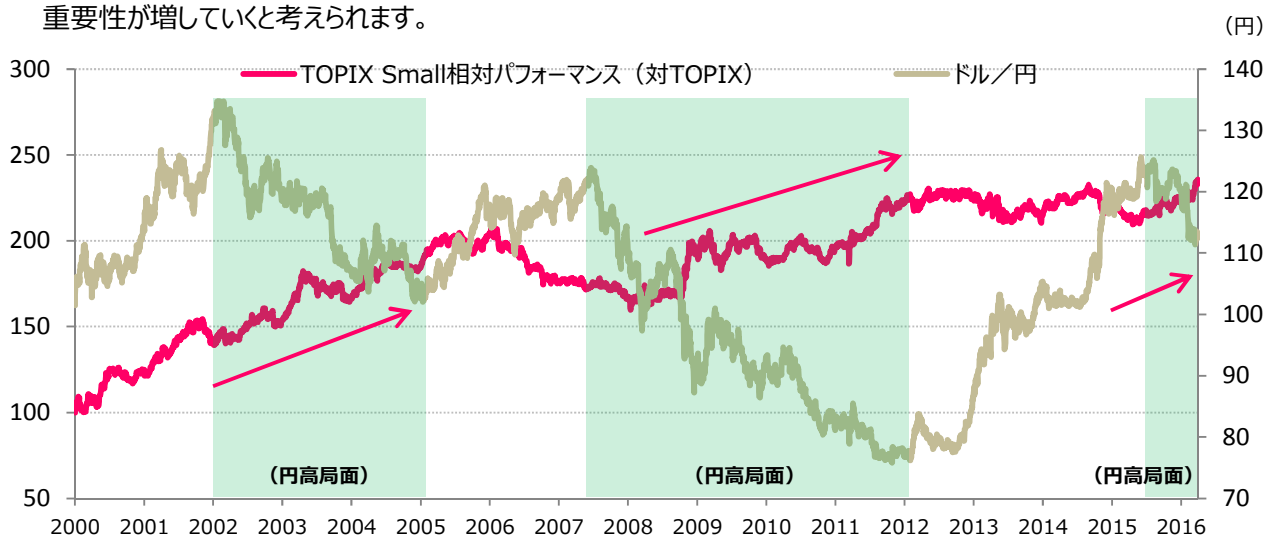
- 足元では軟調な動きを見せている日本株市場ですが、TOPIXのPBR（株価純資産倍率）の水準を見ると、1倍の水準に近いところにあり、割高感はほぼ解消されていると言えます。




データ期間：2000年1月～2016年3月
【出所】Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

## 円高局面での中小型株の優位性

- 過去の円高時の株価の動きを見ると、為替の影響を受けにくい小型株式のパフォーマンスが相対的に優位だったことが分かります（相対パフォーマンス＝TOPIX Small÷TOPIXで算出）。
- 中長期のパフォーマンスにおいても中小型株式は堅調なパフォーマンスをあげており、今後はより銘柄選別の重要性が増していくと考えられます。




データ期間：2000年1月～2016年3月　株価指数は2000年1月3日を100とし指数化。
【出所】Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

○本資料は、ＳＢＩアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

# ■投資信託のお申込みに際しての一般的な留意事項

## ファンドの費用

ＳＢＩアセットマネジメント株式会社が運用する投資信託については、ご投資いただくお客さまに以下の費用をご負担いただきます。

（お買付時に直接ご負担いただく費用）
❖購入時手数料：上限 3.24%（税抜3.0%）
（途中解約時に直接ご負担いただく費用）
❖信託財産留保額：上限 1.0%
（保有期間中にファンドが負担する費用（間接的にご負担いただく費用））
❖信託報酬※：上限 2.16%（税抜2.0%）
※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。また、上記上限を超える場合があります。
❖その他の費用
監査費用、目論見書や運用報告書等の開示資料等の作成にかかる費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
《ご注意》
上記に記載しているリスクや費用の項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、ＳＢＩアセットマネジメント株式会社が運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。
投資信託をお申込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので、必ずお受け取りになり、投資信託説明書（交付目論見書）の内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

## ファンドに係るリスクについて

【基準価額の変動要因】
投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。
また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。
※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

○本資料は、ＳＢＩアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

SBI Asset Management